

大山町民総健康づくり運動

「健康」に関する住民アンケートの結果をお知らせします

結果をお知らせします

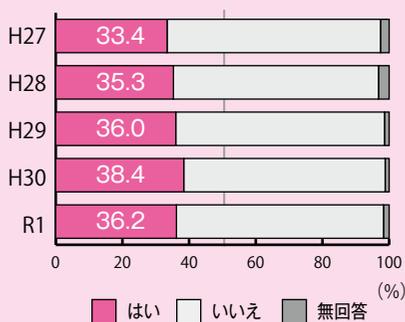
大山町・筑波大学・(株)カーブスジャパン(令和元年度調査より)

大山町では、平成27年度～令和元年度の5年間(全5回)、毎年40歳から74歳の1,100人(男性600人、女性500人)を無作為抽出して、健康に関するアンケート調査を行いました。この調査は町やカーブス大山町健康センターの取り組みが、町民全体の健康意識の向上や医療費等の低減にもたらす効果を検証するものです。令和元年度が最終年度でした。今回は、令和元年度に実施した結果を一部抜粋してお伝えします。

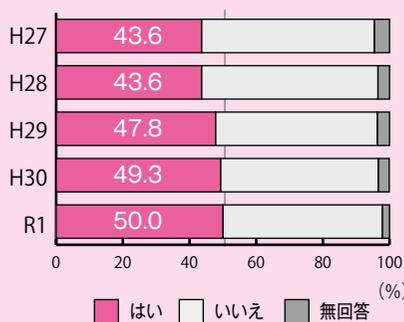
町民のみなさんが健康に生活できるように、今後の施策に反映していきます。



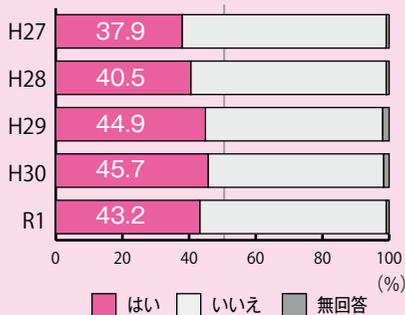
自分の健康を保つために必要な運動ができている



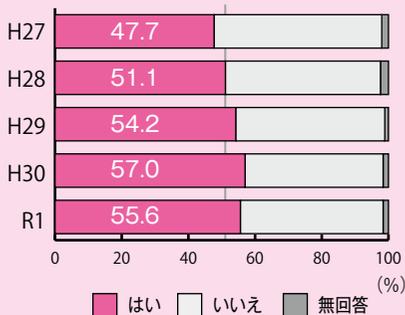
運動や食生活等の生活習慣を改善しはじめている、取り組んでいる



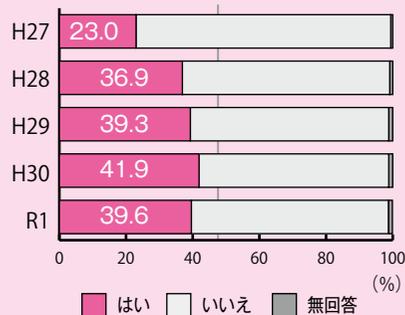
日常生活で歩行または同等の身体活動を1日1時間以上実施している



健康的な生活を送るために自分なりにいろいろな工夫をしている



1日30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施している



調査にご協力いただき、ありがとうございました。

対象者 1,100人
回答者 767人
回答率 69.7%

(令和元年度)

出典：株式会社つくばウエルネスリサーチ「鳥取県大山町における健康づくり事業検証」報告書(令和2年3月)

平成30年度と令和元年度の成果を比較すると、生活習慣の改善に取り組んでいる人の割合が増えています。今回ご紹介したその他の項目については、元年度は肯定的な回答をした人の割合がやや低下していますが、5年間でみると増加傾向であることが読み取れます。このことから、継続した運動を心がけて生活している人の割合が増えていると考えられます。しかしながら、健康診査やがん検診の受診率はいまだ低い状態です。

町民のみなさんが今後も健康で生き生きとした生活を送ることができるよう更なる啓発に取り組んでいきます。

健康対策課

00859・54・5206